

1. 科目名 (単位数)	比較文化学演習 (2 単位)		3. 科目番号	EJJP3382
2. 授業担当教員	高 峽			
4. 授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	比較文化とは、他文化を通して自文化を客観的にみつめ、それぞれの文化がもつ固有性や共通性をみていく学問領域である。文化を比較するといっても各文化のもつ背景は一樣ではないため単純に比較することはできないが、比較は物事の本質や性質を認識するための方法の一つである。 本講義では、比較文化の入門書をテキストとして使用する。「比較日本文化論」のテキストでも扱った文献をはじめ、複数の文献が取り上げられている。テキストで扱う内容については、履修者の意見も取り入れながら、調整して進めていきたい。			
8. 学習目標	1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができる。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察することができる。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	【アサイメント】 予め参加者全員が、一週間前から配布される資料を読んでから授業に参加する。毎回グループ・ディスカッションを行う。その際に、各グループは自ら役割分担 (リーダー・書記・発表者) を決める。ディスカッションの結果を発表、Work Sheetを提出する。 【課題レポート】 40歳の時に、あなたはどのような暮らしをしていると思うか。「女であること/男であることとはどういうこと」で習ったことを踏まえ、なぜそう思うかについて考える。1,000字以上。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】プリントを配布。 【参考書】大津透他著『岩波講座日本歴史』岩波書店、2013-2015。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (学習目標) 1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができたか。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察し、説明することができたか。 ○評定の方法 1. 授業態度 20% : 積極的な参加。私語、居眠り、飲食、携帯電話などの使用は厳禁。 2. グループ・ディスカッション 40% : ディスカッションの結果発表、Work Sheet の提出により評価。 3. レポート 40% : レポート内容、提出期限の遵守により評価。 なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。			
12. 受講生へのメッセージ	欠席しないこと。積極的に授業に参加することが必要で、毎回発言を求める。授業中の態度、参加度が成績評価の主な対象となる。			
13. オフィスアワー	授業についての質問は、授業中あるいは授業終了後に教室にて受付ける。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	ガイダンスと担当の割り当て 戦争責任問題：「私は行為者ではないから関係ない」について①問題提起	事前学習	配布資料を管理するクリアブックを準備すること。	
		事後学習	配布資料を読む。	
第 2 回	戦争責任問題：「私は行為者ではないから関係ない」について②代表的な先行研究を読む	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	
第 3 回	戦争責任問題：「私は行為者ではないから関係ない」について③引き続き先行研究を読む	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	
第 4 回	戦争責任問題：「私は行為者ではないから関係ない」について④ディスカッション	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	
第 5 回	戦争責任問題：「私は行為者ではないから関係ない」について⑤まとめ	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	
第 6 回	「女であること/男であること」とはどういうこと？ ①問題提起	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	
第 7 回	「女であること/男であること」とはどういうこと？ ②代表的な先行研究を読む	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジユメを作成する。	
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次の授業までに提出する。	

第8回	「女であること／男であること」とはどういうこと？ ③引き続き先行研究を読む	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第9回	「女であること／男であること」とはどういうこと？ ④ディスカッション	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第10回	「女であること／男であること」とはどういうこと？ ⑤まとめ	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第11回	日本の天皇制について①問題提起	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第12回	日本の天皇制について②資料を読む（天皇の歴史）	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第13回	日本の天皇制について③引き続き資料を読む（天皇の歴史）	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第14回	日本の天皇制について④資料を読む（国際比較）	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	授業で取り上げたテーマについてコメントを書き、次回の授業までに提出する。
第15回	日本の天皇制について⑤ディスカッション・まとめ	事前学習	参加者全員が配布資料を読む。担当者は文献の要約を行い、レジュメを作成する。
		事後学習	今までの授業を振り返りノートにまとめる。